

呼吸器内科学総論

【Respirology I】

担当責任者 教授(呼吸器内科学) 矢寺 和博

ねらい

呼吸器系は常に外界と接し、環境や職業、生活習慣の影響を受けやすい臓器である。

1. 呼吸器系の解剖と生理、防御機能を正しく理解し、疾病の発生機序を学ぶ。
2. 呼吸器疾患の特徴と病態を理解し、診断法を身につける。
3. 呼吸器疾患の特徴に応じた治療と予防の体系を習得する。
4. 呼吸不全の原因と病態を理解し、呼吸管理について学ぶ。

学修目標

1. 基本的な診察法が実施できる。(IV-1, IV-2, IV-3, VI-1, VI-2)
2. 主要な呼吸器疾患の病因、病態、生理、鑑別すべき疾患を挙げることができる。(II-1, II-5, II-6, II-7)
3. 主要な検査法の原理、方法、適応を理解し、所見の解釈ができる。(II-1, II-5, II-6)
4. 主要な呼吸器疾患の予防と治療法の基本について説明できる。(II-6, III-1)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、下記の教科書、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義資料を熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 理解度チェックのための小テスト・復習テスト(約8割)、受講態度・参加状況(約2割)の結果を基に総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○教科書

矢崎義男、他編「内科学」第11版 2017年 朝倉書店
南学正臣、他編「内科学書」第9版 2019年 中山書店

○参考書

河野茂、他編 レジデントのための呼吸器診療マニュアル 第2版 2014年 医学書院

講義:2208講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.18	月	1・2	呼吸器の解剖と防御機能	D	6	1	矢寺 和博
10.25	〃	〃	診断学(1) 症候学・身体所見・臨床検査法	D,F	6,1	-	赤田 憲太朗
11.8	〃	〃	呼吸生理・呼吸機能検査・閉塞性・拘束性肺疾患	D	6	1,2	山崎 啓
〃	〃	3・4	診断学(2) X線検査法・内視鏡検査法	〃	〃	2	迎 寛(学外)
11.15	〃	1・2	呼吸器感染症(1) 新型コロナウイルス感染対応 (※)	〃	〃	4	赤田 憲太朗
〃	〃	3・4	呼吸器感染症(2) 小テスト (※)	〃	〃	〃	原 可奈子
11.18	木	1・2	呼吸器感染症(3) (※)	〃	〃	〃	西田 千夏
11.22	月	〃	肺と環境(喫煙・職業性肺疾患)	B,D	5,6	4,4	吉井 千春
〃	〃	3・4	呼吸器疾患の臨床診断学・臨床推論	D	6	2,3,4	矢寺 和博
11.29	〃	1・2	急性呼吸不全	〃	〃	4	川端 宏樹
〃	〃	3・4	呼吸器感染症(4) 復習テスト (※)	〃	〃	〃	池上 博昭